

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成〈随時募集〉1次 採択事業

事業名 主題	経済的困窮層の食と生活支援のアクセス確保
事業名 副題	地方都市における困窮者支援の質・量の拡充
対象地域	東北、九州・沖縄
団体名	特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
代表者名	代表理事 永井 秀哉 小美野 剛
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動;①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動;④働くことが困難な人への支援⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動;⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
事業の概要	コロナ禍で低迷する経済情勢を背景に経済的困窮に陥った人々の数は、支援制度終了や制度移行等により、今後さらに増加すると考えられる。本事業では、豪雨等による被災及び完全失業率の高い東北、九州、沖縄を対象として、困窮者が『食』と『職や住に対する生活支援相談』につながるよう、フードバンク団体の食料調達手段の多様化・安定化に向けた支援及び、困窮者支援を行う民間団体の職員研修や人員の確保等の組織基盤の整備に助成を行う。基盤整備の結果としては、食料などの支援物資の一時的な調達を行いながら、市民や企業などと連携した物資の安定的な確保体制構築や、新しい困窮層への支援手法やアプローチ方法の開発を行う。
事業期間	2021年1月~2022年2月末
助成額 (円)	118,278,926

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の課題把握が十分にできており、それに基づいた事業計画も十分にされていると感じました。 ・これまでの実績や貴団体が有するネットワークから、申請事業が目指すところに対し、その実現可能性が高いことが理解できました。 ・各地域独自に行われている災害時体制づくりの動きと連携を意識して取り組みを進めてもらいたく思います。 ・事業実施にあたり、2019年度採択事業の運営と重なる中で、人的リソースや十分な運営体制の確保などもご留意いただき、JANPIAのPOとも連携の上事業を進めていただくようお願いいたします。 ・コロナ禍で表面化しつつある虐待やDVに対する理解や対応といったところにも目を向けていただき、貴団体のような実績・経験豊富な団体が支援を行っていくということもとても重要なことだと考えますので、こうした点も踏まえて事業展開にも期待します。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2020年11月）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点のものです。